

赤十字の活動資金にご協力をお願いします



お寄せいただいたご寄付をもとに県内の福祉や子どもたちのため、県内外の災害被災者のため、または一部は海外の紛争や災害で苦しむ人々のためなど、“人間のいのちと健康、尊厳を守る”ために幅広く活用されます。

ご協力方法について

①金融機関へのお振込み

・受領証を希望される場合は、通信欄に記入いただくか支部までお電話ください。

①ゆうちょ銀行 01590-3-4076
②山口銀行山口支店（普通）0100606
③西京銀行山口支店（普通）2075763

日本赤十字社山口県支部

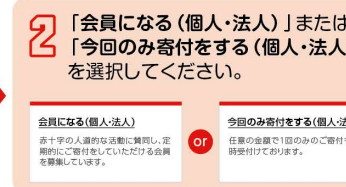
会員登録および表彰を希望される方は、恐れ入りますが、支部までお電話ください。

②クレジットカードから

・支部ホームページからお申込みいただけます。

<https://www.yamaguchi.jrc.or.jp>

携帯・スマートフォンからも可能です。



③自動引き落とし（口座振替）

・毎月/年1回など、ご希望の頻度と額で定期的にご寄付いただけます。申込用紙をお送りしますので支部までお電話ください。

④現金による受付

・あなたのまちの赤十字窓口、または日赤県支部へ



⑤遺贈・相続財産・香典でのご協力

・近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を社会のために役立てたい。」といったご相談や、大切な方を亡くされた方々から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というご相談やお申し出を多くいただいています。日本赤十字社では、このような皆様の尊いご意思に応えるために、遺贈による寄付・相続財産の寄付を承っております。ホームページからパンフレットをダウンロードいただくか、または支部までお電話ください。

その他のご寄付

内祝いや香典返しなどを社会貢献に役立ててみませんか？ 葉書印刷サービスがございまして、お電話でご相談ください。

税制優遇について

個人……………所得税および個人住民税の控除の対象（所得税法第78条第2項第3号）（地方税法第37条の2 地方税法第314条の7 地方税法施行令第7条の17）

相続または遺贈……………相続税の非課税（相続特別措置法第70条）

詳しくは、お近くの税理士事務所等にお問合せください。法人税の優遇もあります。詳しくは支部までお問合せください。

表彰について

①表彰制度

日本赤十字社の表彰				国の表彰	
支部長感謝状	銀色有功章	金色有功章	社長感謝状	厚生労働大臣感謝状	紺綬褒章
支部長 村岡副政（山口県知事）	法人	個人			
一時または累計額が10万円以上	一時または累計額が20万円以上	一時または累計額が50万円以上	金色有功章受章後一時または累計額が50万円以上	同一年度内に、一時または累計額が、個人：100万円以上 法人：300万円以上のご寄付をいただいた場合、授与申請をいたします。	一時または納分の申し出より3年以内に個人：500万円以上、法人：1,000万円以上のご寄付をいただいた場合、授与申請をいたします。

※義援金は「国又は地方公共団体に対する寄付金」となるため赤十字表彰の対象にはなりません。

②表彰伝達式

当支部では、毎年2月に、金色有功章以上の受章者を対象に表彰式典を開催し、支部長（村岡副政知事）から直接表彰をさせていただきます。



— 令和元年度受章者 —

社長感謝状 宇部流通サービス株式会社、社会福祉法人高嶺会株式会社コムズコーポレーション 株式会社丸久、株式会社山口銀行 ほか4名・1社
金色有功章 澤田建設株式会社 ほか6名・3社

企業・団体の社会貢献活動（CSR）として

山口県支部では、活動を続けていくため継続的なご寄付のご協力をお願いしています。ご希望の場合は年に1度、振込用紙をお送りさせていただきます。また、ご寄付の金額に合わせて、社会貢献をPRするための媒体を提供します。日本赤十字社への寄付に対しては、税制上の優遇措置や表彰制度があります。



年間1万円以上	年間2万円以上	年間5万円以上	年間10万円以上
ステッカー	プレート	ホームページに掲載	赤十字サポーターへの登録をご検討ください

一時的なご寄付も随時受け付けています



赤十字サポーター募集 ～社会貢献のためのパートナーシップを赤十字と～

要件① 年一万円のご寄付に加え、日赤の事業・活動に参加・協力 要件② 年十万円のご寄付

①または②の要件を満たす赤十字サポーターを募集しています。認定企業・団体様は、認定証を交付し、ホームページで公表します。



協力例	赤十字サポーター認定企業・団体等（令和元年12月現在）
 日本赤十字社 山口県支部 Japanese Red Cross Society 私たちは赤十字サポーターとして日本赤十字社の活動を支援しています	・株式会社西京銀行 ・株式会社丸久 ・株式会社三宅商事 ・生活協同組合コープやまぐち ・下関商業開発株式会社 ・一般社団法人生命保険協会山口県協会 ・株式会社エイム ・澤田建設株式会社 ・株式会社コムズコーポレーション ・ホテル西長門リゾート ・宇部流通サービス株式会社
周年事業にあわせた寄付 寄付つき自動販売機の設置 広報誌やチラシを利用して広告掲載等	・錦町農産加工株式会社 ・有限会社本瀬商会 ・株式会社サビエルカンパニー ・トヨタ部品山口共販株式会社 - 新・富士高圧フレキシブルホース株式会社 - 新・株式会社シマヤ - 新・防長交通株式会社 - 新・徳山興産株式会社 - 新・積水ハウスグループ

あなたのまちの赤十字

お住まいの市町役場、または社会福祉協議会に日赤の窓口があります。詳しくは、お電話でお問合せいただくかまたは支部ホームページにてご確認ください。

活動（支援）資金の受付

国内義援金、海外救援金の受付

日赤講習会に関する事

地域の防災に関する事、災害時の救援物資に関する事

携帯・スマートフォンからはこちらから
<https://www.yamaguchi.jrc.or.jp/branch/contact>



下関市総務部防災危機管理課

赤十字社への寄付は

いつでも・簡単に・身近な場所でご協力いただけます。

令和2年度 日本赤十字社山口県支部 予算（単位 千円）

皆様からの寄付金をもとに、人間のいのちと健康、尊厳を守る活動を続けています。

②活動資金収入	191,000	⑦災害救援	44,229
③本社交付金収入	12,058	⑧いのちと健康を守る講習普及	16,076
④繰入金収入	1,000	⑨赤十字ボランティアの育成・活動促進	11,478
⑤雑収入	6,942	⑩未来につなぐ青少年赤十字活動	11,980
⑥前年度繰越金	22,000	⑪国際活動、赤十字の全国的事業	29,430
		⑫市町の赤十字事業	36,200
		⑬赤十字思想の普及等	40,901
		⑭支部の運営費	40,206
		⑮予備費	2,500

歳入
233,000
(千円)

歳出
233,000
(千円)

※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計となっており、この予算には含まれていません。

赤十字やまぐち

Japanese Red Cross Society of YAMAGUCHI

2020 春号



赤十字やまぐち 活動レポート

活動レポートは、2019年4月1日～12月31日までの活動を掲載しています。

日本赤十字社は、世界192の国と地域にある赤十字社の一つです。
日本赤十字社法という法律に基づく認可法人であり、独立した民間の団体です。

これらの活動すべては、
皆様からの寄付金に支えられています。
ありがとうございます。

詳しくは
コチラをご覧ください



<https://www.yamaguchi.jrc.or.jp>



災害救護

1 救護訓練

赤十字では救護班要員の任命を行い、今後発生が予測される水害や地震等の大規模災害に際して、迅速かつ的確に対応できるよう災害救護計画に基づいた活動を継続して実施しています。



5月 佐波川水防演習（防府市）



6月 南海トラフ想定訓練（高知県）



11月 中・四国合同訓練（鳥取県）

このほか、日本赤十字社全国救護班研修、中国DMAT実働訓練、こころのケア指導者養成研修、原子力災害基礎研修など全11件の訓練・研修に参加し、更なる救護技術の向上に努めました。

2 防災・減災講習

地域・個人の防災力の向上、災害からいのちを守るための知識を普及するため、自治会・学校・企業等からの依頼を受けて、赤十字ボランティアとともに、講習会を行っています。

大雨防災
ワーク
ショップ等



48回

3 義援金受付

災害被災者を支援するための義援金を受け付け、被災都道府県の義援金配分委員会に全額送金しています。皆さまからお寄せいただく義援金は、同委員会が定める配分基準に従って、被災者へ届けられます。

受付中

台風19号災害義援金
21,211,591円
（令和元年12月31日現在）

受付中

西日本豪雨災害義援金
69,666,054円
（令和元年12月31日現在）

ほか国内義援金、海外救援金も受け付けています。最新の情報は、支部ホームページをご確認ください。

いのちと健康を守る講習会の開催

日常生活における安全意識を高め、事故や災害時に相互に助け合い、行動できる人を増やすことを目的に、具体的な知識と技術を一般の人々に広めています。

1 赤十字主催の講習

年間スケジュールに沿って、県内各地で開催しました。

2 指導員派遣

学校や自治会からの要請に応じ、指導員を派遣しています。



救急法講習



指導員派遣は331回

水上安全法講習



指導員派遣は8回

健康生活支援講習



指導員派遣は15回

幼児安全法講習



指導員派遣は19回

受講者募集！ 赤十字主催の講習

※水上安全法講習・健康生活支援講習・幼児安全法講習については、お問合せください。

救急法講習／日程

① 4時間コース（基礎講習）

手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）の使い方など。

② 3日間コース（救急員養成講習）

日常生活における事故防止や止血の仕方、包帯の仕方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得など。



令和2年

- 下関市 8月22日（土）・23日（日）・29日（土）
- 岩国市 10月10日（土）・11日（日）・17日（土）
- 宇部市 11月7日（土）・8日（日）・14日（土）

令和3年

- 山口市 2月20日（土）・21日（日）・23日（火・祝）

未来につなぐ青少年赤十字

JRC (Junior Red Cross)



リーダーシップ研修

山口市

リーダー養成のための宿泊研修を開催し、小・中・高校生70名が参加しました。日常とは違う環境の中、他校の児童・生徒らとの集団生活を通して、自らが気づき・考え・実行することの大切さを学びました。



募金活動

各地

国内の被災者のため、また世界の紛争・災害・病気に苦しむ人々のために、学校内外で募金活動を行いました。

JRC加盟園・校募集中！

支部へお問合せください。
（加盟には登録費用等はかかりません）

令和元年12月現在の
加盟数（県内） 161園・校

（保育園2園、幼稚園16園、小学校77校、中学校28校、高校37校、特別支援学校1校）

台風19号災害 救護活動報告 （11月8日現在）

日赤では、20支部33病院から救護班・こころのケア班等を派遣し、災害直後から被災者支援にあたりました。



●医師・看護師等の派遣

救護班



108班
※日本DMAT
(26班)を含む

災害医療 コーディネート チーム



48班

こころの ケア班



27班

●救援物資の配布

毛布



16,699枚

安眠セット



2,779セット

緊急セット



2,396セット



救護活動を
まとめた
動画はコチラ

赤十字 ボランティア

募集中！

1 ボランティアの 種別と役割

地域やボランティアの分野ごとに「奉仕団」を組織しています。

奉仕団名	役割
地域奉仕団	地域のボランティア活動や災害時の炊き出しなど
青年（学生）奉仕団	社会福祉施設の訪問や募金活動など
安全奉仕団	県内全域の救急法等講習会指導・講習普及など
アマチュア無線奉仕団	通信訓練及び県・市町防災訓練への参加
青少年赤十字賛助奉仕団	青少年赤十字加盟促進
災害救護奉仕団	県内全域の防災講習会指導・防災減災意識向上の普及



2 連絡会議・研修

奉仕団相互の連携強化や、活動の中心となるボランティアリーダーの育成、また各奉仕団が円滑な活動展開ができるよう、連絡調整会議や研修等を行っています。

10月 赤十字奉仕団
中堅団員研修会

12月 青年（学生）赤十字奉仕団
リーダー研修会 など



3 活動

各ボランティアがそれぞれの地域や分野で活動を行いました。

6月

岩国市本郷赤十字奉仕団が、地域のボランティア活動に参加し、桜の木の手入れ、県道沿いの草刈り、清掃活動等を実施。小・中学生、校長・教頭・先生らも参加され、総勢100名で取り組みました。

10月



7月

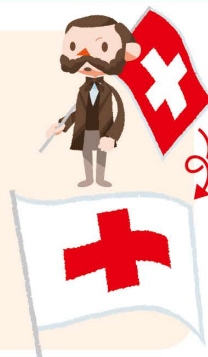
萩市佐々並赤十字奉仕団が、地域の団体と、高齢者や一人暮らしの方々を招待し「七夕まつり」を開催。「手作りの食事でもてなし、一緒に歌をうたったり、体操などを行いました。これからも顔を合わす機会を大切にしていきます。」



お知らせ

5月は、赤十字運動月間です！

今からおよそ150年前、スイス人のアンリー・デュナン（ノーベル平和賞 第1回目受賞者）は国際的な救護団体の必要性について訴え赤十字社を創設。「人道」「公平」「中立」など赤十字の基本7原則は世界各国に広がりました。日本赤十字社は毎年5月を運動月間とし、創設者の想いを広め、赤十字事業へのご理解ご協力を呼びかけています。



～自治会を通じて日赤にご協力くださる皆さまへ～

日ごろからご協力いただき誠にありがとうございます。お寄せいただくご寄付は、お住まいの市町の防災・減災に関する事業や、県民の皆さまのための救援物資の準備、国内外の被災者支援等、幅広く活動させていただいております。引き続きご支援よろしくお願いいたします。

【日赤山口県支部活動資金募集状況】

